

# 東亜グループ CSR活動の 基本的考え方

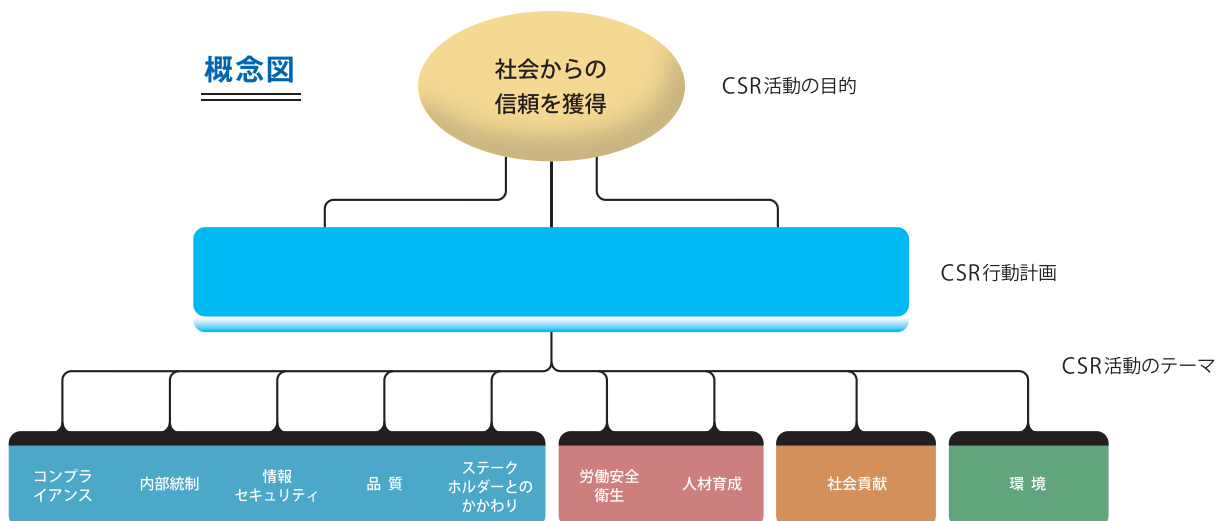
経営理念に掲げる

「高い技術をもって、社業の発展を図り  
健全な経営により社会的責任を果たす」ことが  
社会における当社の存在意義であるとの認識のもと  
健全で継続的な社業の発展をめざして  
CSR活動を推進します

東亜グループは、海上土木、陸上土木、建築の分野で、日本はもとより広く海外のニーズに応えています。そのめざすところは、CSR活動の目的としている「社会からの信頼を獲得」することです。この目的を達成するために、公正な企業活動による健全経営を追求し、高い技術により建設業者としての品質の高いサービスを提

供してまいります。

当社では、CSR中期目標を掲げ、従来から取り組んでいる9つのテーマを深化させることを優先的に、CSR活動に取り組んでいます。テーマごとに、期首に行動計画を策定し、期末に評価し、次年度の行動計画に活かしています。



## 企業行動規範

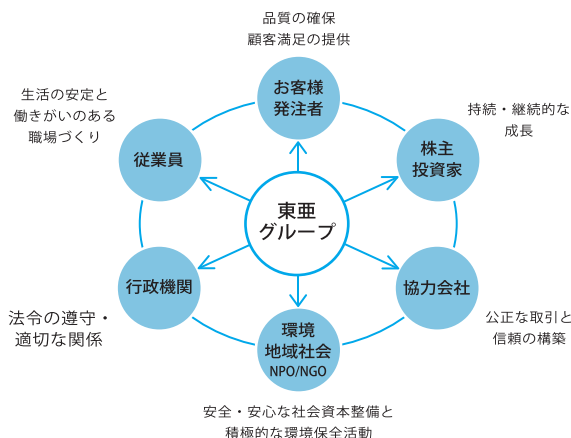
### ■ 東亜建設工業グループ企業行動規範

当社は、経営理念に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」ことが、社会における当社の存在意義であるとの認識のもとにCSR活動を推進し、健全で継続的な社業の発展をめざすべく、ここに「東亜建設工業グループ企業行動規範」を定め、グループ全体に周知・徹底します。(2006年6月制定)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① 優良な建設物とサービスの提供   | ⑥ 地域社会との調和と貢献      |
| ② 法令等の遵守の徹底        | ⑦ 環境への取り組み         |
| ③ 公正な競争の推進         | ⑧ 働きやすい職場環境と豊かさの実現 |
| ④ 反社会的勢力との関係の遮断    | ⑨ 国際社会との調和と貢献      |
| ⑤ 企業情報の適正な開示と信頼の確保 | ⑩ 率先垂範と体制整備        |

## 東亜グループのステークホルダー

東亜グループは、株主、お客様、従業員、協力会社、関係機関、工事現場や事業所の近隣住民、できあがった構造物を利用する人々など、さまざまな人々、法人、機関と関わりをもち、支えられています。これらステークホルダーの満足度向上を図るため、グループをあげて取り組んでいます。



2011年度の主な活動実績と2012年度の主な活動目標

CSR活動のテーマ	2011年度の主な活動実績	2012年度の主な活動目標
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■犯罪および重大事件“ゼロ”</li> <li>■e-Learningによる全社員を対象とした研修の実施 第1回「反社会的勢力との関係の遮断」受講率91% 第2回「独占禁止法の遵守について」受講率89%</li> <li>■「反社会的勢力排除に関する確約書」の取引先からの取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■犯罪および重大事件“ゼロ”</li> </ul>
内部統制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■財務報告に係る重要な欠陥“ゼロ”</li> <li>■東亜グループの内部統制の有効性の維持・向上</li> <li>■e-Learningによる全社員を対象とした研修の実施 「内部統制：実践編」受講率86%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備(重要な欠陥)“ゼロ”</li> <li>■業務遂行に伴う経営リスクの低減</li> </ul>
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■重大情報漏えい“ゼロ”</li> <li>■PCの盗難：2件</li> <li>■停止時間：ファイルサーバ以外は30分以内</li> <li>■携帯リモートの展開</li> <li>■情報セキュリティの実施状況の確認と指導</li> <li>■e-Learningによる全社員を対象とした研修の実施 「情報セキュリティ122期」受講率87%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■重大情報漏えい“ゼロ”</li> <li>■PCの盗難・紛失の台数“ゼロ”</li> <li>■各システム、メール、ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 個々30分以内</li> </ul>
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>■工事成績評定(官庁土木)：77点(平均)</li> <li>■顧客満足度評価(民間建築)：4段階評価(A～D)のB評価以上を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■工事成績評定(官庁土木)：80点以上(平均)</li> <li>■顧客満足度評価(民間建築)：4段階評価(A～D)B以上</li> </ul>
ステークホルダーとの かかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■IR決算説明会(本決算、第2四半期)・現場見学会(「鶴隆」の記者発表)の実施</li> <li>■ホームページを通じた情報開示</li> <li>■CSR報告書2011の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■企業情報の開示に努める</li> <li>■会社のPRに努める</li> </ul>
労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公衆災害3件</li> <li>■重大災害0件</li> <li>■業務上疾病 熱中症・脱水症9件</li> <li>■災害度数率0.34</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公衆災害“ゼロ”</li> <li>■重大災害“ゼロ”</li> <li>■業務上疾病“ゼロ”</li> <li>■災害度数率0.50以下</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新卒者採用：38名</li> <li>■新教育方針に基づく「課長・作業所長研修」の実施。</li> <li>■インターシップ9名受入</li> <li>■テレビ会議システムを利用して、講演会「個を活かし、組織を活かす」開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新卒者採用：40～50名</li> <li>■研修の充実</li> <li>■産学連携による人材育成</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国交省BCP再認定及びマニュアル類の大幅改訂</li> <li>■共生社会活動の推進 電力対策自主行動計画の策定・実施 エコキャップ活動：収集結果32万個</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大震災・直下型地震に対応した社内システムの構築</li> <li>■共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■後述ページ(P.35)参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■後述ページ(P.35)参照</li> </ul>